



平成30年
4月号 No.144

緑のネットワーク通信

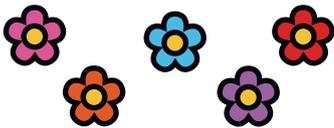
グリーンハート



発行：平成30年3月20日 / 公益財団法人 福岡市緑のまちづくり協会

目次

- P.01
 - 一人一花
スプリングフェス協力お礼
 - 一人一花
花壇コンテスト最優秀賞
- P.02
 - 一人一花
緑のコによる体験講座
- P.03
 - カラーサンド講習会
 - プリザーブドフラワーアレンジ
- P.04
 - あじさいボランティアに参加
 - 花壇の手入れ・花飾り作り
- P.05
 - 春のフラワーアレンジ
 - 西南杜の湖畔公園 花壇作り
- P.06
 - 春の寄せ植え
 - カラーサンドのアレンジ
- P.07
 - 第3回「八重のさくら祭り」
- P.08
 - 初!台湾満喫の旅
- P.09
 - 猿山と能登半島最高峰 宝達山
お礼状を頂きました
- P.10
 - 園芸クラフト部スタート!
- P.11
 - 地域の森・花づくり活動団体⑦
 - 耕運機の研修会を行いました
- P.12
 - 植物園からのお知らせ



投稿記事のしかた

本誌に記事を載せたい方は記事内容を書面(メール可)で提出してください。

5月号(5月20日前後発行)への投稿締切は**4月末日**です。

(公財) 緑のまちづくり協会
みどり課

TEL: 822-5832 FAX: 822-5848
Mail: higotani.e@midorimachi.jp



一人一花スプリングフェス ご協力ありがとうございました



一人一花運動のキックオフイベント「一人一花スプリングフェス」が警固公園で4/7(土)から4/15(日)まで開催されました。春のイベントとして定着していた「福博花しるべガーデニングショー」が名前を変え、例年にも増して会場に花があふれたイベントになりました。



今回最大の注目を集めていたのが一人一花のマークを表現した巨大オブジェでした。また、花壇コンテストでは、日頃からまちなかで花壇づくりを行ってくださっている12の市民団体が趣向を凝らした作品を制作してくださいました。今年で3回目となるペットボトルハンギングによる花装飾は年々改良を加えており、美しい花の額縁ができあがりました。

また、会場を彩った花苗の活用を呼びかけたところ、多くのみなさまからのご依頼がありました。イベント終了後、それぞれの地域で花を植えていただき、警固公園を起点に花のまちづくりが市内に広がりました。



様々な形で一人一花スプリングフェスに関わってくださったみなさま、ご協力ありがとうございました。

花壇コンテストの入賞作品は、同封のリーフレットをご覧ください。

みどり課企画推進係 中原 由紀子

一人一花スプリングフェス 花壇コンテスト



「花笑みバスケット」



みどりちかまる

福岡のまちに「一人一花」157万人の「花笑み」を咲かせましょう!!

受賞コメント / みどりちかまる代表 石井康子

私達のチーム「みどりちかまる」は地下鉄駅植栽ボランティアを始めて12年目になります。今回の花壇は同じく12年目を迎えた修猷館高校花壇ボランティア「修猷なでしこ会」のメンバーと一緒に作りました。「一人一花」運動が進む中、「福岡市に花笑みを広げよう」を表現しました。メンバー達の花を愛し仲間や福岡市を想う気持ちが受賞につながり光栄です。

このコンテストを通じ、さらに花と緑あふれる福岡市になるよう願っています。

最後に一句 「春爛漫 花笑みつなぐ 市民の輪」



一人一花スプリングフェス 体験講座

ペットボトルハンギング

【日時】4月7日（土）11:00～15:00
【参加人数】22名 【参加費】500円
【講師】石井康子 吉松晃子
【講師補助】江口邦子 貞方恵子



4/7(土) スプリングフェス初日。

強風に雨、あられ…と悪天候の中、一人一花スプリングフェスがスタートしました。

悪天候の中足を運んでくださった皆様、誠にありがとうございます。

今回のペットボトルハンギングバスケットには22名の方に体験していただき、完成した作品は会場の看板に設置させていただきました。

作品が増える毎にボリュームが増えて華やかになり、最後は緑のコーディネーターの方に仕上げをしていただき、一つの作品が完成しました。

みどり課企画推進係 梶原 彩未



ペットボトルから…



講座風景



寒さの中の作業です



作品完成～♪



一人一花スプリングフェス 体験講座

寄せ植え

【日時】4月8日（日）11:00～15:00
【参加人数】14名 【参加費】500円
【講師】坂本咲子 瀬戸口珠子



4/8(日) スプリングフェス二日目。

初日に比べ気温も上がり日が射す中、会場には多くの方にお越しいただきました。

足を止めて作品を眺めたり、写真に収めたりと、皆さん思い思いに楽しんでいらっしゃいました。

この日の寄せ植え体験には14名の方が参加してくださり、緑のコーディネーターの方のご指導によりそれぞれの作品を制作しながら花の手入れについても学ばれていました。

お家に一鉢あるだけでグッと雰囲気が変わりますね！

みどり課企画推進係 梶原 彩未



丁寧に制作します



マンツーマンでの指導



一人一花スプリングフェス 体験講座

エコ鉢を使った花鉢づくり

【日時】4月14日（土）11:00～15:00
【参加人数】12名 【参加費】500円
【講師】古荘浩士 米倉治美
【講師補助】大塚千恵子、進藤あけみ、山本聡子



新聞紙とセメントでつくったエコ鉢に、ライスフラワーを植え付ける体験講座を実施しました。ライスフラワーはつぼみから開花までの観賞期間が長く、花持ちもよいことから、切り花やドライフラワーなどにも活用できる、オーストラリア原産のキク科の植物です。

当日は雨風が強く天候には恵まれませんでした。米粒のような特徴のある白いお花やエコ鉢に目をとめられる方も多く、12名の皆様が花鉢づくりに参加されました。

みどり課企画推進係長 倉橋 智子

活動報告



カラーサンド講習会 弥永2018

報告：緑のコーディネーター 石井 康子 さん



【日時】2月6日（木）14:00～15:30

【場所】南区弥永公民館

【参加人数】20名 【参加費】 700円

【講師】石井 康子

公民館より「昨年好評だった‘カラーサンド講座’を今年もお願いします。」と依頼がありました。植物は、シマトネリコとパキラの2種類を準備し好みの方を、カラーサンドは12色の中から4色を選んでもらいました。個性が光る20作品が出来上がりました。

その後作品を愛でながら笑顔の茶話会となり、昨年参加の方は「1年育てた作品は元気で大きくなりました。」と嬉しい報告もありました。公民館主事さんが昨年講座時に作られた作品は立派に育ち公民館玄関で「ウェルカムグリーン」となっています。今年の作品も隣に置いていただき来館者を迎えます。



聞き入る受講生



作品制作



昨年度の講座作品

活動報告



春色プリザーブドフラワーアレンジ

報告：緑のコーディネーター 蘭牟田 了子 さん

【日時】2月25日（日）14:00～16:00

【場所】西市民センター

【講師】蘭牟田 了子

【参加人数】23名

【参加費】2,000円

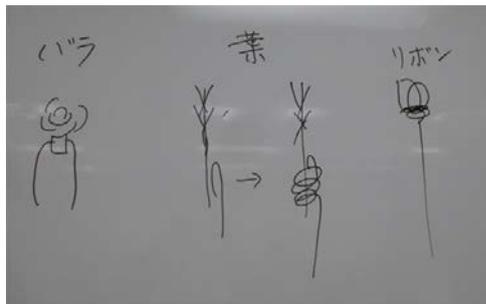


今回は、吊り下げタイプのプリザーブドフラワーアレンジをおこないました。バラ、アジサイ、色々なドライフラワー、造花、リボンを使い、球体の作品を作り上げていただきました。中心が発砲スチロールになっており、そこに花材を挿していくのですが、通常のアレンジと違い、上・横・下・斜めとあらゆる方向から花をいれなければいけないので、苦戦されている方も多かったようです。

いつもは、賑やかな作業風景ですが、今回は息をする間もないようで、時折、「はぁ〜」と、思いだしたように呼吸をされている方もいらっしゃいました。皆さん、真剣に作品に向き合われただけあって、どなたも素晴らしい出来あがりでした。また、今回は、プリザーブドフラワーに加え、レモンユーカリのオイルを染み込ませたソイフラワーを花材として準備して、香りも楽しめるようにしました。レモンユーカリは、心をリラックスさせながら明るく元気にしてくれます。併せて、抗炎症作用に優れているので、筋肉痛や肩こりの方にもお勧めのアロマです。素敵な作品と香りに癒されつつ、講座を終えました。



受講風景



板書



受講風景



あじさいボランティアに参加して

報告：緑のコーディネーター 富永 誠 さん



【日時】3月14日（水）9：30～12：00
 【場所】舞鶴公園 【講師】後藤田 洋子
 【参加人数】20名



作業風景（牡丹・芍薬園）

舞鶴公園管理事務所主催のあじさいボランティアに参加しました。
 この催しは舞鶴公園内にアジサイの花園を作るため、市民参加型の一人一花イベントで募集があり応募しました。
 昨年の7月に牡丹芍薬園前のアジサイを切って挿し木し9月に根がついた挿し木をポットに移し替えを行い春の地植えする日まで待ちました。

3月14日あじさいボランティアメンバー一同が集まり、ポットの中でしっかり根が付き新芽が出て来た苗木400本をポットから舞鶴公園内の牡丹芍薬園内と潮見櫓前の下之橋に地植えを行いました。

このイベントは今後も引き続き行うそうで舞鶴公園内に新しい花の名所ができるのを楽しみにしたいと思います。



地植えの指導



作業風景（下之橋付近）



花壇の手入れ・花飾り作り

報告：緑のコーディネーター 吉松 晃子 さん



【日時】3月14日（水）13：00～
 【場所】西新小学校 【講師】吉松 晃子・江口 邦子・大塚 千恵子



3月14日、13時から西新小学校で、卒業式前の花壇の手入れ・花飾り作りをしました。
 4年・5年生の美化委員の児童20数名と先生にも、昼休みを利用して手伝っていただき、PTAの「花ボランティア」の皆さん・緑のコーディネーター江口邦子さん・大塚千恵子さんと共に、プランターへの寄せ植えや、ペットボトルの花飾りを賑やかに楽しく作りました。

この花飾りは、卒業式の会場となる体育館へ向かう渡り廊下に並べて、6年生への花道となりました。
 また、校長室に呼ばれてのサプライズで、感謝状を授与していただき、ビックリするやら嬉しいやら、地域で活動できて、みんな笑顔で楽しく過ごせる幸せを感じました。ありがとうございます。



賑やかな作業風景



プランターへの寄せ植え



出来ました！



感謝状を頂きました

活動報告



春のフラワーアレンジ

報告: 緑のコーディネーター 吉松 晃子 さん



【日時】 3月17日(土) 14時~15時
 【場所】 早良区 脇山公民館 【講師】 吉松 晃子
 【参加人数】 16名(持ち帰り含む) 【参加費】 500円

卒業式・合格発表、桜の開花が待たれる頃、可愛らしい春のフラワーアレンジを作りました。

小さなニコちゃんマークの容器に、ラッピングフィルムを2種類重ねて吸水性スポンジを入れ、チューリップ・フリージア・スイートピーの順に生け込み、隙間にブブレイウムを入れて完成。「孫の卒業祝いに、もう一つ作ろう」「お世話になっている方にプレゼントしたい」との声もあり、参加者の皆さんもニコニコ笑顔、花の香りに包まれた素敵な時間を過ごしました。



受講風景



花の香りにつつまれて



聞き入る受講生



皆笑顔で完成

活動報告



西南杜の湖畔公園花壇作り

報告: 緑のコーディネーター 高井 カホル さん



【日時】 3月17日(土) 10:00~11:30
 【場所】 西南杜の湖畔公園 ふれあい場所(2カ所) 【講師】 高井 カホル・岩田 登
 【参加人数】 西南杜の花クラブ 11名



使用植物

- ・スイートアリッサム
- ・ネモフィラ
- ・マリーゴールド
- ・デージー
- ・キンセンカ
- ・リナリア

毎年2月~3月にかけて公園内の花壇作りをしています。

今回はふれあい広場で幼児から小学生の子供たちが遊具で遊ぶ場所の近くなので、子供らしい花壇をと犬と太陽をイメージしました。前日犬と太陽の形のチップを敷きつめ整えました。

なんだか犬に似ずサルのようにも思え、ワイワイ言いながらの一人一花運動になりました。お花が落ち着いた頃、見に来てくださいとお願いし、終了しました。



作業風景



犬と太陽のイメージ



皆さんとパチリ



春の寄せ植え

報告：緑のコーディネーター 黒瀬 恵子 さん

【日時】3月21日（水）13：30～15：30
 【場所】生松台 第一集会所 【講師】黒瀬 恵子
 【参加人数】18名 【参加費】2,000円



生松台 第一集会所で、華やかなランキュラスやダブルバコパ・コピアなどを使って「春の寄せ植え講座」を行ないました。会場には早くから参加者の方が来られ、「わぁ～ランキュラス!、植えてみたかったの～」 「どの色にしようかな～」と、講座が始まる前からとても嬉しそうです。私たちは好きな花や好きな色を見るだけでも気持ちが高揚します。

寄せ植え講座では、先ず初めに使用植物の説明を行ないました。それぞれの植物がどのように成長するのか、花の向きを考えて植えること、高さの違うポット苗の植え方、根鉢と根鉢の間に丁寧に土を入れるやり方、ウォータースペースの取り方など、植物を扱うのが初めての方にも、分かりやすく丁寧に指導させていただきました。参加者の方々は、全体のバランスを考えながら、きれいな寄せ植えを作られ、とても満足そうでした。

最後に寄せ植えを長く楽しむための手入れの方法や管理の仕方、また、ご自分で寄せ植えをつくれる時の土や植物の選び方などお話を頂き、質問にも答えさせていただきました。

生松台では、昨年10月から「みどりと花の街創りの会」の皆さんが、地域に花を植える活動を始められたそうです。福岡市では「一人一花」運動も始まりました。寄せ植え講座がきっかけとなり、地域に花の輪が広がって行くことを願っています。

「みどりと花の街創りの会」代表の森本様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。



きれいに仕上がりました



カラーサンドのアレンジ

報告：緑のコーディネーター 吉松 晃子 さん

【日時】3月26日（月）13：30～15：30
 【場所】西区 生松台（いきまつだい）第一集会所 【講師】吉松 晃子
 【参加人数】20名 【参加費】700円



春休みの子供向けに「カラーサンドアレンジで世界にひとつだけのオリジナル作品を作りましょう」生松台・花いっぱい講座を担当しました。

観葉植物のパキラをガラスの器に入れ、3～4色の砂を重ねて仕上げにしました。

好きな色を選ぶきっかけになればと、国旗・色見本を用意して張り出し、完成した作品の「テーマ」を書き出して頂き、全員で作品鑑賞会もしました。

皆さん器用に、綺麗に砂を重ねて、見事な作品がズラリと並びました。

国旗を参考にした小学校1年生が、「アメリカ」と鉛筆で書いてくれたのがとても可愛らしく印象的で、小さな容器の中に、それぞれの世界が広がり、皆さん楽しそうで良かったです。



豊富なカラーサンド



選ぶのも楽しい



色合わせ思案中



出来たかな?!

活動報告



第3回「八重のさくら祭り」のご報告

報告：緑のコーディネーター 林 康通さん



【日時】4月7日（土）～8日（日）

【場所】南区野多目 九州がんセンター『憩い通り』



世界中で愛される「関山」

4月7日（土曜）・8日（日曜）、南区野多目の九州がんセンター『憩い通り』で、第3回「八重のさくら祭り」を開催しました。2日前まで、気象予報士の手嶋準一さんが「今年のようにさくらの満開時期に、2週間近くも温かく天気が安定していた年は記憶のない」と言っていたほど好天でしたのに、7日は寒の戻りとかで7～8度の寒さ、自然の無常さをつくづく感じさせられたさくら祭りになりました。

それでも、それまでの好天が幸いして八重ざくらの多くが満開で、それぞれのさくらが懸命に咲き誇ってくれて、種類の多さ、花の多様さ、八重の花弁数などが参加者には大変好評でした。

「石の上にも3年」と言いますが、このさくら祭りでは多くの人達のご協力があることを強く感じさせられました。

平成13年春、最初に植樹したとき、牛尾恭輔がんセンター名誉院長（当時副院長）には雨の中、今のさくらを手植えて頂きました。その後、先生にはさくらの生長を四季折々の動画、静止画を通して記録して頂き、癒し憩い画像データベースのなかの一つとして患者さんたちに「見える癒し」として元気を、励ましを届けて頂いています。これら動画などは、全国のがんセンターのロビーなどで随時放映されています。

3月まで東若久公民館長を務めた大村正治さんにもお世話になりました。彼とは市植物園でガイドボランティアをともしした仲間です。彼はこの八重さくら祭りを契機に、植物を愛（め）で親しむ会を立ち上げて、当日、寒さの中、20名余りの会員とともに祭りに参加してくれました。昔馴染みにさくら祭を盛り上げてもらいました。

がんセンター関係者には、藤也寸志院長初め関係者の皆様に大変なご協力を頂いたことは言うまでもありません。心から御礼を申し上げます。

これから年々この八重のさくらは成長して美しい花をつけていきます。益々「八重のさくら祭り」が盛んになるよう、応援を宜しくお願いします。



佐野藤右衛門が戦後京都で見つけ、全国に広めた「市原とらの尾」に見入る皆さん



ロビーで連日放映された九州がんセンターのさくらの表情

グリーンノート投稿締切日の変更のお知らせ

来月号よりグリーンノート投稿の締切日を変更します。期日を過ぎた投稿は翌月分となります。
5月号投稿は4月27日までです。

×現行

毎月10日



月末

※月末が休日の場合は、直前の開庁日まで。

グリーンノートは皆さんからの投稿記事に支えられています。
皆さんからのご投稿お待ちしております♪



台中にある虹色の村「彩虹眷村(サイコウケンソン)」。90歳過ぎのおじさんが描いたとは思えない、インパクトのある色彩が刺激的でした。



台南市に位置するオランダ人によって築城された城跡「赤崁楼(セキカンロウ)」。ヨウテイコウやカエンカズラなどの花が咲き、綺麗でした。



空にそびえる大きなガジュマルが台北のバス停で木陰をつくり、「トトロの森?」みたい!。散歩するのが楽しくなりそうな街並みでした。



ネット画像参照



お土産の「乾燥・金針花」。



ヨウテイコウ(羊蹄甲)。葉が羊の蹄に似ていることから名付けられた。

高雄「寿山公園」

カエンカズラ。台湾では「爆竹の花」と呼ぶ。



街路樹に咲く「風鈴木」のピンク色の花。車外は熱帯植物園のよう。ぼ〜っと、眠ってなんかられないと写真撮りまくり。



ネット画像参照

和名「インドソケイ」キョウチクトウ科のプルメリア。花色が茹で卵の白身と黄身に似ていることから、台湾ではニワトリの卵(鶏蛋花チータンフォア)と呼ばれています。開花/6月~10月 芳香



ネット画像参照

新年度スタート前に充電しよう!と、高雄・台南・台中・台北縦断4日間(2月21日~24日)のツアーに行ってきました。

旅行の一部をご報告します。十份で念願の天燈上げ体験、日本の統治時代の名残を漂わせるレトロな雰囲気漂う夜景の九份など、人気スポット観光旅行のはず?でした。が、台湾の現地ガイドさんが台湾の歴史・観光案内はもちろんですが、花や植物などにも詳しく、行く先々で花や車窓から見る街路樹などの説明をしてくださり、画像を撮りメモっては、ガイドさんの空いた時間に花の名前の確認をしたりして、お得感満載な「植物ガイド?付き観光旅行」でした。

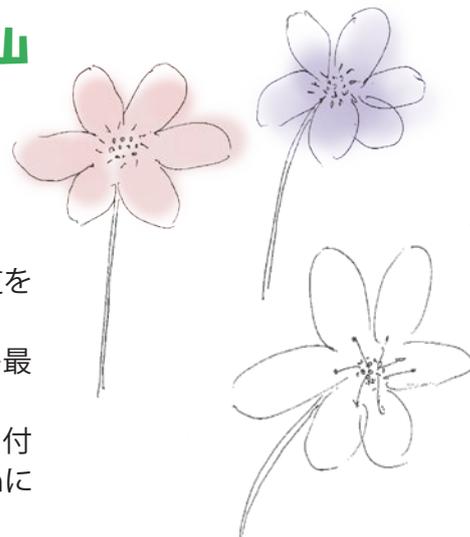
台北市内にある「国立中正紀念堂」公園内に「環境教育植物生態歩道」があり、日本ではあまり見られない珍しい植物も植らえられているらしい。残念ながら今回は時間がなくて、散策できませんでした。



ユキワリソウの猿山と能登半島最高峰 宝達山

報告：緑のコーディネーター 高井 カホル さん

【日時】 4月2日(月)～5日(木)
 【場所】 石川県能登半島の北西端
 【参加者】 21名



花の色：ピンク、紫、白

行きは、新門司港～神戸港～梅田～京都竹田より参加者を乗せ北陸道を北上するのですが車窓から見る桜がとってもきれいでどこの桜も満開です。この時期にユキワリソウ(オオミスミソウ)の群落を作る猿山と能登半島最高峰宝達山に行ってきました。

能登半島は日本海に長く突き出しているため、冬は北西の季節風が吹き付け、外浦の北西部は強い荒波に浸食され、海食崖が作られ、海拔200mにも及ぶ絶壁になっています。

海食崖や海側斜面にある植物は、強い風の影響を受け、陸側にだけ枝を伸ばし独特の植物景観をなしています。猿山沖には対馬海流が北上し、比較的温暖な気候になっています。常緑広葉樹も多く見られます。

シャバステ峠より歩き、ククザキイチリンソウ、ユキワリソウの白、ピンク、紫、オオユリワサビ、トキワイカリソウ、スマレサイシン、エンレイソウ、ヒトリシズカ、キンキエンゴサクが目にとまります。まだこれから咲く花も準備中です。樹木では、キボシ、アラゲヒョウタンボク、ナニワズが咲いていました。感動々でした。たくさんの花が咲き楽しめそうです。

翌日は宝達山です。残雪があり、イワウチワが咲いていたそうです。私はバスで移動したため、見ることはできませんでした。

ショウジョウバカマ、ククザキイチゲ、ミヤマカタバミが咲いて駐車場より山頂まで20分の登山道をゆっくり歩きキンメヤナギ、キンキマメザクラ、マンサクを目にし、フキノトウ、ツクシが出ていました。

帰路、新門司港に着きシャトルバスで門司駅で降り、そこからバスで門司港駅へ。友だちとここで山の荷物を預け、バスで北九州市立白野江植物公園へ。そこでも桜が満開です。一部すぎているものもありましたが。

白野江はサトザクラが60品種の桜があり2月～4月の間に次々に開花するとのことで、私も一度行きたいところでしたからこの機会に行ってみました。もう感動々でした。

覚えているのはヤエベニシダレ、オオチョウチン、ウコン、ギョイコウ、フゲンゾウ桜の他にシャクナゲ、モミジの新緑もすばらしく、竹林では筍の子が頭を出していました。

心が癒されました。「来てよかったなあー。さあ明日から頑張るぞー」と力がわいてきて家着は午後7時30分となりました。

お礼状を頂きました

報告：緑のコーディネーター 古荘 浩士 さん

福岡中央特別支援学校 お礼状





園芸クラフト部スタート!

園芸福祉ふくおかネット 園芸クラフト部 『♣クローバー』 4月20日(金)開設

- 園芸を福祉の視点で「花・緑とふれあいながら、みんなで笑顔になりましょう」を理念に活動を続けています「園芸福祉ふくおかネット」。
- 4月20日(金)から福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん(天神クラス4階)」にて、花・緑とふれ合いながらおしゃべりを愉しみ、ちょっと贅沢で大人な時間の講座をスタートします。
- ご家族やお友だち、お知り合いの方などをお誘いされて、ご参加されませんか。スタッフ一同皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

園芸福祉ふくおかネット 園芸クラフト部 『♣クローバー』 主催講座

- ◆10:30~12:30/講座 60分(随時受付)
- ◆会場/福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」小会議室(天神クラス4階)
- ◆募集人数/10名
- ◆参加費/ひとり700円



4月20日ハーバリウム
イメージ作品

2018年の講座内容

月 日	講 座 内 容	講 師
4月20日(金)	ハーバリウム(植物標本の意味) 贈り物、お部屋のインテリアとして大人気	田中 節子
6月22日(金)	夏の涼しげなコケ玉	井上 妙子
8月24日(金)	香りの壁掛け 麦わら帽子のスパイスリース	米倉 治美
10月26日(金)	カラーサンド・多肉植物寄せ植え (メッセージ入り)	田中 節子
12月14日(金)	ハーブ香るレモングラスのしめ縄	米倉 治美

- お申し込み・お問い合わせ先/ 園芸福祉ふくおかネット
園芸クラフト部 『♣クローバー』 携帯 090-3417-5662(米倉)

連載 地域の森・花づくり活動団体 ⑦ ～耕運機の貸し出し始めます～

連載7回目は耕運機についてです。

会員不足の声が多い中、協会では皆さまの活動の省力化を少しでもサポートできるようにと考え、以前から要望の多かった耕運機の無料貸し出しを開始します。

家庭用カセットガスに対応した、簡単操作の小型耕運機です。ぜひ、花壇の維持管理にご活用ください！

■貸し出し機材

クボタ菜園倶楽部

「ニューミディカチット TMC200」

- ・家庭用カセットガス（イワタニカセットガス指定）に対応したガスエンジンの耕運機です。
 - ・新品のガスボンベで約30分間の連続作業が可能です。
 - ・ハンドル位置を3段階に調整できるので、楽な姿勢で作業がおこなえます。
- ※燃料のガスボンベのご準備をお願いします。



■貸し出し対象者・貸出、受付期間

- ・福岡市緑のまちづくり協会が助成している **活動団体** 及び、**緑のコーディネーターで耕運機研修会を受講した人**、もしくは**耕運機運転の経験がある人**
- ・貸し出し期間 最大1週間
- ・申請書受付期間 使用される1ヶ月前から

■利用方法

- ① 申請書類に必要事項を記入し、緑のまちづくり協会(みどり課)へ提出する(電話、FAX、メール可)
- ② 事前に申告した場所(舞鶴公園管理事務所 もしくは 東平尾公園管理事務所)にて耕運機を受け取る
- ③ 借りた場所へ返却する

詳しい申請方法は協会までお問合せください ☎092-822-5832

耕運機操作の研修会を行いました。



4月11日(水)、13日(金)の2回にわたり、耕運機の操作実習研修会を行いました。

当日は耕運機メーカーの方から機械の運転方法についての実演や安全な作業方法について指導を受けた後、一人ずつ実際に運転しました。

初心者の方が多かったのですが、みなさんすぐに感覚をつかんでいるようでした。

また、簡単に自己紹介もかねて各団体の紹介や交流もあり、和気あいあいと楽しい研修会となりました。

～耕運機Q&A～

Q 使う時期は？

A 花壇の花の植替え前、土づくりをする時。

Q どのタイミングで使うのか？

A 土づくりで荒おこし後、石灰等の土壌改良材を混ぜ込む時。土地の開墾には使わないでください。

Q どのような場所でも使えるか？

A 耕うん幅は420mmです。ある程度の大きさの花壇で、石や植物を取り除いてから使ってください。

Q 自家用車で運べるか？

A 軽自動車のワゴンタイプであれば十分入ります。

4月の「一人一花」



緑のコーディネーター8期生 杵島さん、6期生 森さん
一人一花スプリングフェスに参加しました♪

情報提供



福岡市植物園からのお知らせ



春のバラ園

こんにちは福岡市植物園です。

すっかり春となり、みなさまの身の周りでも、タンポポやカタバミといった野草が開花していることと思います。園内では花木園でツツジ類が、4月中旬のクルメツツジに始まり5月下旬のサツキツツジまで、それぞれ見ごろを迎えそうです。



バラ（ピースキーパー）

また、5月はバラの季節です。春に咲くバラは秋に咲くバラと違い、一輪一輪が大きく花数が多いのが特徴です。

バラ園では約250種、1,100株のバラたちが咲き誇ります。愛情いっぱいに育てた植物園のバラは、例年、素晴らしいとご称讃いただいております。また、4月28日（土・祝）から5月20日（日）まで春のバラまつりを開催します。イベント期間中はバラの人気投票やバラのガイド、グリップとの記念撮影会などを行います。詳細は植物園ホームページをご確認ください。

ぜひ、美しく香り豊かなバラを楽しみに、植物園までお越しください。

※イベント期間中は周辺道路が激しく混雑します。公共交通機関をご利用ください。また、無料シャトルバス“Zooバス”も運行しています。ぜひご利用くだ

春の植物園ではイベントや講座が目白押しです。

イベント

- 春のバラまつり 4/28(土)～5/20(日)
- あおぞらえほん 4/29(日)
- みどりの日無料開園 5/4(金)
- こどもの日プレゼント 5/5(土)
- 一人一花 花苗プレゼント 5/11(金)

展示会

- 春の野鳥写真展 4/17(火)～5/6(日)
- 春の盆栽と山野草展 4/20(金)～4/22(日)
- クレマチス展 4/28(土)～4/30(月)
- 春の洋らん展 5/3(火)～5/6(日)
- ポタニカルアート展 5/8(火)～5/13(日)
- 春のばら展 5/11(金)～5/13(日)
- 花と緑のまちかど写真コンテスト入賞作品展
5月15日(火)～6月10日(日)
- ハーブまつり 5/12(土)、13日(日)

講座・教室・観察会

- 春の庭木の管理 5/18(金)開催(※切5/4(金))
- 福岡市植物園から発信!! ～植物ってこんなにおもしろい2018～
5/19(土)(対象 小学生以上 先着20名)
- 植物園観察会【バラ】～華麗なバラの魅力を探る～ 5/19(土)開催(※切5/5(土))
- ハーブの効用1 5/23(水)開催(※切5/9日(水))
- フラワーアレンジメント基礎講座1 5/25(金)開催(※切5/11(金))
- ポタニカルアート入門(連続6回) 5/29(火)開催(※切5/15(火))

イベントや講座の詳細については植物園ホームページをご確認ください。

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

☆『無料シャトルバス“Zooバス”』

- 運行日： 5月までの日曜日・祝日とゴールデンウィーク期間
(4月29日、30日、5月3日～6日)
- ルート： 大濠公園駅前(3番・6番出口付近)⇄動植物園(植物園正門)
※六本松駅、桜坂駅からは運行しておりませんのでご注意ください
- 運行時間： 9:30～17:10(GW期間は9時始発)
 - ・大濠公園駅前 始発 9:30
 - ・動植物園 最終 17:10(約20分間隔で運行)



協会より



グリーンノートへの投稿をお待ちしています!



グリーンノート4月号はいかがでしたか?
皆さまの地域での活動、花情報、イベントの案内、会員募集、ご自身の一人一花報告など、グリーンノートへどんどん投稿してください♪

※投稿のしかたは、表紙の「投稿記事のしかた」をご覧ください★



発行元/事務局

(公財)福岡市緑のまちづくり協会 ☆みどり課☆
メールアドレス: higotani.e@midorimachi.jp
TEL: 822-5832 FAX: 822-5848